

## 平成22年5月期 第1四半期決算短信

平成21年10月5日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 メデカジャパン

コード番号 9707 URL <http://www.medcajapan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小山 康文

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 執行役員 (氏名) 富岡 慎介

TEL 048-631-0010

四半期報告書提出予定日 平成21年10月9日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年5月期第1四半期の連結業績(平成21年6月1日～平成21年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第1四半期	6,735	△20.2	300	42.5	191	—	260	—
21年5月期第1四半期	8,435	—	210	—	5	—	△488	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第1四半期	3.53	—
21年5月期第1四半期	△6.61	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第1四半期	26,877	5,935	22.1	80.34
21年5月期	27,848	5,628	20.2	76.18

(参考) 自己資本 22年5月期第1四半期 5,935百万円 21年5月期 5,628百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年5月期	—				
22年5月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年5月期の連結業績予想(平成21年6月1日～平成22年5月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	13,410	△16.6	480	31.1	210	—	295	—	3.99
通期	27,070	△7.5	1,035	131.2	470	—	480	—	6.50

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 [(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- |                 |   |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更        | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |             |             |             |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年5月期第1四半期 | 74,047,928株 | 21年5月期      | 74,047,928株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年5月期第1四半期 | 171,321株    | 21年5月期      | 171,011株    |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年5月期第1四半期 | 73,876,677株 | 21年5月期第1四半期 | 73,879,946株 |

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.平成21年7月14日に公表しました平成22年5月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「特別利益及び特別損失の発生ならびに平成22年5月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績に関する事項は、4ページの【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

## ・ 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成21年6月1日～平成21年8月31日)におけるわが国経済は、世界的な金融不安の影響を受けた景気の急激な悪化に底入れの兆しが見えるものの、企業収益の低下による雇用情勢の悪化や設備投資の抑制、個人消費の低迷など、依然として厳しい状況が続きました。

介護業界におきましては、確実かつ急速に超高齢社会が進行していることに伴い、介護サービスに対するニーズも増加し続けております。平成20年度は全国40道府県において人口減少となり、本格的な人口減少・少子高齢社会が到来し、介護・医療におけるインフラ及び人材の確保は社会的急務となりました。この情勢下において行政主導による介護業界への支援も強化されており、平成21年4月の介護保険報酬改定では、制度開始以来初の報酬増額改定がおこなわれたほか、追加経済対策として介護報酬と別枠での補助金による介護従事者支援(介護職員処遇改善交付金)の制度が平成21年10月に開始され、介護人材確保の追い風となるものと期待されます。

このような状況のもと当社グループにおきましては、引き続きコンプライアンス強化と人材確保・育成、サービスの質の向上などの内部充実に取り組み、有料老人ホームの営業強化による稼働率向上と既存拠点の内部体制の充実に努めてまいりました。また、前事業年度において各地域の支社に権限を委譲し、組織改革を断行したことにより、さらに現場に密着したサービス提供と人材教育をおこなってまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、介護事業が順調に推移したものの臨床検査事業譲渡等により67億3千5百万円(前年同期比20.2%減)、営業利益は温浴事業等不採算事業の精査をおこなったことにより3億円(前年同期比42.5%増)、経常利益は1億9千1百万円となりました。また、貸倒懸念先への債権回収が順調に進み貸倒引当金戻入額を8千9百万円、債務保証額の減少により債務保証引当金戻入の発生2千6百万円、固定資産の売却益1千6百万円を特別利益に計上し、また、債権の回収目的で保有する担保の評価替えに伴う貸倒引当金繰入額3千6百万円を特別損失に計上したこと等により、四半期純利益は2億6千万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の事業の種類別セグメントの売上高・営業利益は以下のとおりです。

## 【介護事業】

介護事業におきましては、複合介護サービス施設「ケアセンターそよ風」を直営で1施設新規開設し、施設数が直営で145拠点(単独訪問介護事業所含め150拠点)、グループ11拠点、フランチャイズ7拠点のもと、年度計画に基づき各サービスの稼働率を向上すべく、地域密着型の事業展開と支社への権限移譲による営業力の分散や強化、経営判断の迅速化等、組織改革をおこない、堅調に推移しました。

当社におきましては、前事業年度より課題でありました、大型有料老人ホーム・高齢者専用賃貸住宅におきまして、地域性や複合施設の強みを活かした営業活動により、有料老人ホーム等の売上高が前年同期比13.8%増となりました。また、デイサービスの売上高におきましても、営業キャンペーンやこれまでのイベントをリニューアルして取り組むことで利用者数が順調に推移し、開設3年未満の拠点を中心に底上げとなり、前年同期比9.8%増となりました。

その結果、売上高は65億6千7百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益は4億6千7百万円(前年同期比18.5%増)となりました。

## 【その他の事業】

その他の事業におきましては、不採算部門であった温浴事業からの撤退と譲渡、また前事業年度において、商品販売事業を行っていた連結子会社の連結除外により売上高は3億2百万円(前年同期比61.3%減)、営業利益は2千7百万円となりました。

なお、連結子会社が運営するシニア向けマンション事業につきましては順調に推移しております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債および純資産の状況

当第1四半期末につきましては、総資産268億7千7百万円(前連結会計年度末比9億7千1百万円減)となりました。これは、主に保有不動産の売却によるものです。また負債については、主に不動産売却資金等により借入金の返済をおこない209億4千2百万円(前連結会計年度末比12億7千8百万円減)、純資産は主に当期純利益の計上により59億3千5百万円(前連結会計年度末比3億6百万円増)となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ5億7千3百万円減少し、20億8千5百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において営業活動により使用した資金は7億2千3百万円(前年同期は4億3千4百万円の資金支出)となりました。これは主に前連結会計年度末日が休日であったため当社の仕入

債務等の支払が翌日（当第1四半期連結累計期間）におこなわれたことによるものです。  
 （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は6億6千万円（前年同期は3億1千7百万円の資金支出）となりました。これは主に、有形固定資産を売却したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は5億1千万円（前年同期は8億4百万円の資金支出）となりました。これは主に有利子負債を圧縮したことによるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月期の業績予想につきましては、平成21年10月5日公表の「特別利益及び特別損失の発生ならびに平成22年5月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①一般債権の貸し倒れ見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算出したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算出しております。

##### ②棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味却価額を見積もり、簿価切下げをおこなう方法によっております。

##### ③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては前連結会計年度末に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,366,676	2,984,339
受取手形及び売掛金	3,020,547	2,918,624
商品及び製品	15,427	13,679
原材料及び貯蔵品	35,149	35,176
その他	1,920,794	1,437,536
貸倒引当金	△123,285	△154,304
流動資産合計	7,235,310	7,235,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,131,125	10,335,099
土地	2,707,765	3,120,151
リース資産(純額)	394,254	397,487
その他(純額)	864,393	832,024
有形固定資産合計	14,097,539	14,684,763
無形固定資産		
のれん	34,672	38,336
その他	97,725	100,128
無形固定資産合計	132,397	138,465
投資その他の資産		
差入保証金	2,590,055	3,473,711
その他	6,129,870	5,646,485
貸倒引当金	△3,307,915	△3,330,064
投資その他の資産合計	5,412,010	5,790,132
固定資産合計	19,641,947	20,613,361
資産合計	26,877,258	27,848,414
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	312,967	481,889
短期借入金	542,123	573,800
1年内返済予定の長期借入金	3,296,586	3,255,747
リース債務	4,919	5,199
未払法人税等	66,578	192,734
その他	2,928,828	3,112,670
流動負債合計	7,152,005	7,622,041
固定負債		
長期借入金	8,378,778	8,787,689
リース債務	399,592	400,583
退職給付引当金	293,614	268,763

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
役員退職慰労引当金	12,500	10,691
債務保証損失引当金	372,833	398,726
その他	4,332,897	4,731,779
固定負債合計	13,790,216	14,598,233
負債合計	20,942,222	22,220,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,028,726	18,028,726
利益剰余金	△12,021,234	△12,282,124
自己株式	△145,784	△145,762
株主資本合計	5,861,707	5,600,838
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	73,328	27,299
評価・換算差額等合計	73,328	27,299
純資産合計	5,935,036	5,628,138
負債純資産合計	26,877,258	27,848,414

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
売上高	8,435,611	6,735,789
売上原価	7,113,689	5,958,258
売上総利益	1,321,921	777,530
販売費及び一般管理費	1,111,190	477,339
営業利益	210,730	300,190
営業外収益		
受取利息	33,031	6,948
受取配当金	14,407	9,851
負ののれん償却額	1,045	1,135
その他	18,223	31,228
営業外収益合計	66,707	49,164
営業外費用		
支払利息	170,188	102,022
持分法による投資損失	56,567	—
その他	44,790	56,269
営業外費用合計	271,546	158,292
経常利益	5,892	191,062
特別利益		
固定資産売却益	—	16,488
投資有価証券売却益	1,693	4,069
貸倒引当金戻入額	15,925	89,348
その他	3,349	36,891
特別利益合計	20,967	146,797
特別損失		
固定資産除却損	32,319	—
投資有価証券評価損	358,364	—
貸倒引当金繰入額	13,426	36,236
その他	38,911	—
特別損失合計	443,022	36,236
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△416,162	301,623
法人税、住民税及び事業税	66,773	38,898
法人税等調整額	△464	1,833
法人税等合計	66,308	40,732
少数株主利益	5,725	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△488,195	260,890

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△416,162	301,623
減価償却費	230,107	176,855
のれん償却額	2,968	2,528
投資有価証券評価損益(△は益)	358,364	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,627	△53,169
固定資産売却損益(△は益)	—	△16,462
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	—	△25,893
退職給付引当金の増減額(△は減少)	20,029	24,851
受取利息及び受取配当金	△47,438	△16,800
支払利息	170,188	102,022
持分法による投資損益(△は益)	56,567	△6,896
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,693	△4,069
売上債権の増減額(△は増加)	△170,274	△117,866
売上債権譲渡による収入の増減額(△は減少)	—	20,802
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,788	△1,720
仕入債務の増減額(△は減少)	△54,664	△168,922
未払消費税等の増減額(△は減少)	△55,617	65,354
預り保証金の増減額(△は減少)	59,124	△178,608
未払費用の増減額(△は減少)	—	△335,939
その他	△448,464	△267,794
小計	△284,547	△500,104
利息及び配当金の受取額	66,879	20,090
利息の支払額	△170,087	△103,827
法人税等の支払額	△46,314	△140,153
営業活動によるキャッシュ・フロー	△434,070	△723,994
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△148	—
定期預金の払戻による収入	10,014	44,094
有形固定資産の取得による支出	△180,854	△36,465
有形固定資産の売却による収入	—	569,808
投資有価証券の取得による支出	△34,499	—
投資有価証券の売却による収入	2,907	93,295
貸付けによる支出	△96,800	—
貸付金の回収による収入	37,550	16,030
その他	△55,677	△26,150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△317,507	660,612



(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	790,200	—
短期借入金の返済による支出	△831,159	△31,676
長期借入金の返済による支出	△603,641	△368,071
社債の償還による支出	△45,000	—
自己株式の取得による支出	△555	△21
固定資産に係る割賦債務等の返済による支出	—	△110,416
その他	△114,014	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△804,171	△510,186
現金及び現金同等物に係る換算差額	188	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,555,559	△573,568
現金及び現金同等物の期首残高	4,466,405	2,659,159
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,910,845	2,085,590

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日)

	介護事業 (千円)	臨床検査事業 (千円)	その他の事業 (千円)	合計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,108,635	1,712,207	614,767	8,435,611	—	8,435,611
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,889	1,963	164,969	171,822	(171,822)	—
計	6,113,525	1,714,171	779,736	8,607,433	(171,822)	8,435,611
営業利益又は営業損失(△)	394,527	81,370	△ 20,760	455,138	(244,407)	210,730

- (注) 1 事業区分の方法は、内部管理上採用している区分によっております。  
2 各事業区分の主な内容  
(1) 介護事業 通所介護、訪問介護、認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護、短期入所生活介護、有料老人ホーム、高齢者住宅  
居宅介護支援及び福祉用具貸与等在宅介護業務  
(2) 臨床検査事業 各種臨床検査の受託業務及び血液・尿等の検査材料の集配業務  
(3) その他の事業 ホテル事業、不動産賃貸業、高齢者向マンション事業、医療系産業  
廃棄物運搬業務、機械・介護施設用設備機械等の販売  
3 事業区分の変更  
従来、事業区分しておりました、「商品販売事業」は、金額的重要性が低下したため「その他の事業」に含めて表示しております。この変更により、前第1四半期連結累計期間における「その他の事業」に含めた「商品販売事業」の売上高は230,872千円、営業利益は3,904千円であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)

	介護事業 (千円)	その他の事業 (千円)	合計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,567,083	168,705	6,735,789	—	6,735,789
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	720	133,326	134,047	(134,047)	—
計	6,567,803	302,032	6,869,836	(134,047)	6,735,789
営業利益	467,673	27,967	495,640	(195,450)	300,190

- (注) 1 事業区分の方法は、内部管理上採用している区分によっております。  
2 各事業区分の主な内容  
(1) 介護事業 通所介護、訪問介護、認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護、短期入所生活介護、有料老人ホーム、高齢者住宅  
居宅介護支援及び福祉用具貸与等在宅介護業務  
(2) その他の事業 不動産賃貸業、高齢者向マンション事業、医療系産業  
廃棄物運搬業務、機械・介護施設用設備機械等の販売  
なお、主に臨床検査事業を営んでおりました株式会社メデカジャパン・ラボラトリーは、平成20年10月21日付で全株式を譲渡したため、連結子会社から除外しております。これにより、当第1四半期連結累計期間より事業区分に臨床検査事業はありません。

**【所在地別セグメント情報】**

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

**【海外売上高】**

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。